

風評の影響の払拭に向けた取組について

令和5年4月13日
観光庁

安心感を広く行き渡らせるための取組について

①(一社)日本旅行業協会(JATA)会員旅行会社(約1400社)、(一社)全国旅行業協会(ANTA)会員旅行会社(約5500社)及び教育旅行関係者に対して継続して情報発信等を実施。

○広報誌によるALPS処理水の正確な情報発信

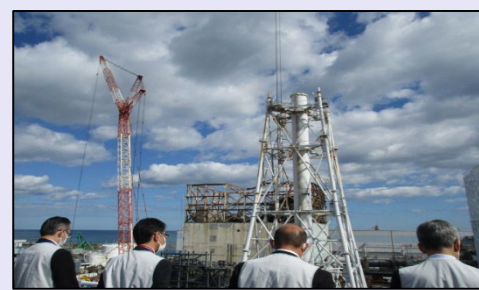
- ・経済産業省と連携し、JATA及びANTAの広報誌に、風評払拭の取組について記事を掲載。
(JATA会報誌、ANTA NEWS : 令和4年11月掲載)



▲ANTA NEWS 2022.11・12月号掲載記事

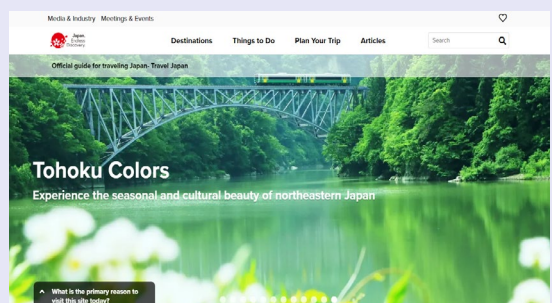
○現地に足を運んでいただき安心の共有を図る取組

- ・経済産業省や福島県と連携し、旅行会社向けの福島第一原子力発電所等の視察を実施し、福島県へのツアー商品造成を促進。約50社が参加。
(令和3年度11月、2月、令和4年度10月、1月に実施。)
- ・教育旅行関係者を対象とした視察(オンライン開催含む)を実施。
約200名が参加。
(令和3年10月～令和5年3月に18回実施)

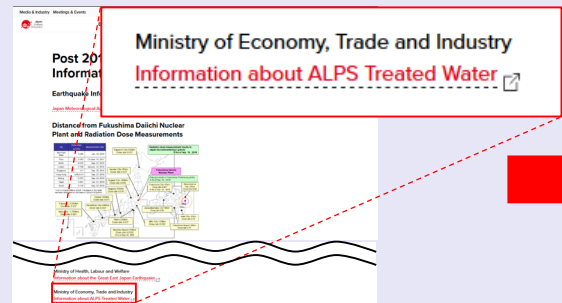


▲福島第一原子力発電所1号機の視察の様子

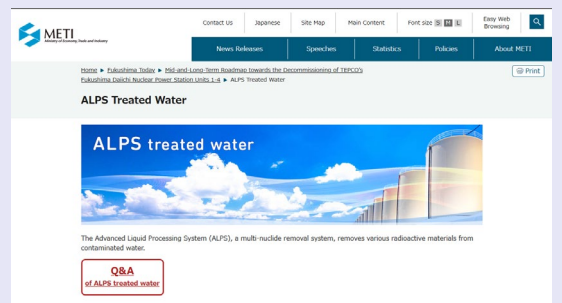
②日本政府観光局(JNTO)グローバルサイトに、経済産業省のALPS処理水のポータルサイトへのリンクを掲載し、日本に関心のある外国人旅行者に向けた正確な情報発信を継続して実施。



▲JNTOグローバルサイトTOPページ



▲3.11情報ページにリンクを掲載



▲経済産業省のALPS処理水のポータルサイトへ誘導

福島県における観光関連復興支援事業

福島県における観光復興を促進するため、同県が福島県観光関連復興事業実施計画に基づいて実施する
 ①滞在コンテンツの充実・強化、②受入環境の整備、③プロモーションの強化、④観光復興促進のための調査を支援し、国内外から福島県への誘客を図る。

ホープツーリズムの取組について (ホープツーリズム参加実績:令和3年度 9,848名、令和4年度2月末時点17,398名)

- ・世界で類を見ない複合災害を経験した唯一の場所である福島での「**ホープツーリズム(※)**」は、**浜通り地域が中心**となる「福島ならではの」観光コンテンツ。 ※震災・原発事故の被災地域をフィールドとした福島県が推進する学びの旅のこと。
- ・令和4年度は、従来の**教育旅行や企業等の研修旅行といった団体旅行向けの取組に加え**、団体の枠組みに属さない**サイクリングやワーケーションとの組み合わせによる個人旅行客を対象とした取組の推進により、ホープツーリズムの更なる誘客を拡大**。
- ・令和5年度は、**インバウンド向けのホープツーリズムの取組を強化**。

滞在コンテンツの充実・強化

- ・県外の教育関係者や企業を対象としたモニターツアーを実施し、教育・研修のプログラム及びモデルコースを造成・磨き上げ



ホープツーリズムのプログラム造成のためモニターツアーを実施 (浪江町立請戸小学校)

受入環境の整備

- ・ホープツーリズム及びサイクリングに関する知識を兼ね備えたガイドの養成
- ・ワーケーション受入に必要となるWi-fi環境を整備



浜通りの魅力を発信するサイクルガイドの養成講座を実施

プロモーションの強化

- ・台湾・ベトナム・タイ・米豪での現地窓口設置を通じた現地旅行会社への商品造成の働きかけ
- ・WEBサイトやSNS、旅行博における福島の魅力のPR



台湾で開催の旅行博に出展し福島の魅力をPR

観光復興促進のための調査

- ・浜通りにおける受入環境の整備の状況に関する調査の実施
- ・浜通りを含む主要観光地点におけるアンケート調査の実施



風評の実態把握や課題抽出のため調査を実施 (楡葉町天神岬スポーツ公園)

- 令和4年度に「ブルーツーリズム推進支援事業」を新設し、風評が特に懸念される沿岸部におけるコンテンツの充実やプロモーションの実施等の支援を強化。
- 令和4年度の採択実績として、岩手県は2件、宮城県は8件、福島県は2件、茨城県は2件を採択した。
岩手県：釜石市、陸前高田市
宮城県：南三陸町、石巻市、亶理町、一般社団法人 気仙沼市観光協会（2件）、
一般社団法人 七ヶ浜町観光協会、株式会社東松島観光物産公社、株式会社インアウトバウンド仙台・松島
福島県：相馬市、相馬市観光協会
茨城県：高萩市、大洗町
- 令和5年度も、継続してブルーツーリズムの推進のための取組を支援。

海水浴場等の受入環境整備支援

（取組例：相馬市観光協会）

海水浴場の監視体制を強化するためのレスキューボード等の備品購入や、ライフセービングの資格取得に向けた講習会の開催を支援。



原釜尾浜海水浴場

コンテンツの充実支援

（取組例：陸前高田市）

牡蠣養殖用イカダの上で陸前高田ならではの料理と酒を提供する観光コンテンツ「オーシャンBAR」の磨き上げおよび商品造成を支援。



オーシャンBARイメージ

プロモーションの実施支援

（取組例：大洗町）

国内外からの誘客促進のため、台湾で開催の旅行博（いばらき大見本市）への出展や、国内インフルエンサーを活用した情報発信を支援。



「いばらき大見本市」開催の様子（出典：茨城新聞）

ブルーフラッグ認証取得支援

（取組例：南三陸町）

ブルーフラッグ認証の取得に向け、海水浴場の砂浜へのスロープ設置やトイレ・シャワー棟の段差解消等のバリアフリー化を支援。



バリアフリー化の対象となる現地のトイレ棟